

平成 17 年 5 月 13 日

株式会社スピナカー・システムズ

横浜市港北区新横浜 2-3-12 新横浜スクエアビル 11F

TEL: 045-478-3801 (代)

info@spinnaker.co.jp

スピナカー・システムズ、米 Mobius Microsystems と販売代理店

契約を締結、クロックジェネレータ IP を日本で展開

東京、および米国ミシガン州デトロイト—2005 年 5 月 13 日—株式会社スピナカー・システムズ(横浜市、以下スピナカー)と、シリコン・クロック技術を提供する Mobius Microsystems (米国ミシガン州デトロイト、以下 Mobius) は、日本における提携関係を結び、Mobius のシリコン・クロックジェネレータ IP を日本市場で販売・サポートすることに合意しました。

Mobius Microsystems Chief Operating Officer の Jeffrey G. Wilkins 氏のコメント・・・「日本有数の IP 販売代理店であるスピナカーとの提携を歓迎いたします。スピナカーは日本市場において、広い取引関係と業界知識を持っています。Mobius は、高集積 LSI デザインに注力している日本の半導体メーカーに、シリコン上で実現する独自のクロック生成技術を紹介できるでしょう。」

スピナカー・システムズの代表取締役社長、福島和雄のコメント・・・「Mobius と提携することを大変うれしく思います。Mobius のクロック生成技術には色々なメリットがあります。例えば外部クロック IC や PLL が要らなくなり、また消費電力が低く、短い遅延で起動や周波数変更が可能です。今後、日本の半導体メーカーにこの技術を紹介して参ります。」

Copernicus™ Clock について

Copernicus Clock は、LSI の中に組み込み可能なシリコン・クロック IP で、高精度、低ジッタが特徴です。設定により、外付け部品を一切使わずに複数の周波数が出力されます。ハードマクロとしてライセンスされ、マイクロプロセッサ、マイクロコントローラ、データ通信コントローラ、SoC、ASIC、ASSP などのさまざまなアプリケーションの製品に組込可能です。Copernicus Clock で用いられている LC (インダクタ・キャパシタ) の共振技術と新しい補償技術は、ほぼすべての標準 CMOS プロセスで組み込むことができます。この技術により、Copernicus Clock は幅広い動作範囲において、他のシリコン・クロックやセラミック振動子よりも全体的に精確な周波数が生成できます。さらに、短いレイテンシで起動や動的電力制御のための周波数変更が可能です。

Mobius Microsystems について

Mobius Microsystems は 2002 年に設立され、シリコン・クロック生成技術のリーダーです。RF とアナログ領域に関する広い専門知識を活かし、標準 CMOS プロセスでクロックジェネレータ IP を開発しています。Mobius の製品は消費電力削減に役立つとともに、これを利用することで回路の集積度とパフォーマンスをさらに高め、かつ開発期間が短縮できるので、製品のトータルコストの削減に寄与します。より詳しい情報をお求めの方は、同社のウェブサイト www.mobiusmicro.com をご覧ください。

スピナカー・システムズについて

スピナカー・システムズは 1995 年に設立され、先端の IP のデザイン・ライセンスと半導体を提供し、システムレベルのインテグレーションをサポートするエンジニアリング・スキルとコンサルティング能力を持っています。スピナカーには多種類の EDA ツール、IP、および半導体を販売・サポートしてきた実績があります。スピナカーは 2000 年より、ALTERA の FPGA/CPLD の大手販売代理店である、株式会社 PALTEK (JASDAQ: 7587) の子会社です。住所は横浜市港北区新横浜 2-3-12 新横浜スクエアビル 11 階です。詳しい情報をお求めの方は、同社のウェブサイト www.spinnaker.co.jp をご覧ください。

【このプレスリリースに関するお問合せ】

Mobius Microsystems, Inc.

Jeffrey G. Wilkins

+1-313-420-5400 x111

solutions@mobiusmicro.com

株式会社スピナカー・システムズ

045-478-3803

info@spinnaker.co.jp